

情報連絡員報告総括表(令和7年6月期)
富山県中小企業団体中央会

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	醤油・味噌製造業	→	→	↗	→	↘	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・味噌の主原料である加工原料米の需給の逼迫や価格の高騰は未曾有の状況であり、改善の見通しも極めて不透明である。 ・令和7年産加工用米の価格や数量の確保について、全ての組合員が不安視している。
	パン製造業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	→	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料価格の値上がりが続いている。 ・気温の上昇により、売上が減少している。
	処理牛乳・乳飲料製造業	→	↘	↗	→	→	→	↘	→	↘	・特になし。
繊維工業	ニット製造業	→	→	→	→	→	→	↘	→	→	・景況について、衣料関係は依然として厳しい状況である。
	絹人織織物業	↘	↗	↗	→	→	→	→	→	↘	・実質賃金が低下し、購買力が落ちていることから、末端の販売数が減少しており、売上の維持に苦慮している。
	綿・スフ織物業	↘	→	→	→	↘	↘	↘	↘	↘	・組合員企業1社が廃業予定である。組合の事業規模が益々縮小に向かい、懸念材料が多い。
木材・木製品	一般製材業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・改正建築基準法施行による建築確認事務の遅れが影響し、新設住宅着工戸数は、2ヵ月連続で前年同月の半分以下となり、大幅に減少している。 ・建設資材価格の高騰による住宅価格の上昇は、減築傾向を強め、床面積の減少が木材利用量減に結びつき、景況は数字以上に厳しい状況にある。 ・ロシア材取扱事業者は、ロシア材を安定的に確保出来ているが、ロシア材原材料仕入れ価格の上昇や人件費の高騰分を木材製品販売価格に転嫁出来ない厳しい状況が続いている。 ・プレカット工場の稼働状況は、稼働率が順調な工場がある一方で、仕事量の確保に苦心している事業者もある。
	その他の木製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・特になし

印	刷印 刷業	→	→	↗	→	↘	→	→	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル化による紙離れに対して、業界全体で対策を打たなければ、市場規模の縮小、業界の衰退は必然である。組合では、他県の新事業や新企画の成功例を収集し、対策案を練っている。
化学・ゴム	医薬品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料仕入価格の上昇は続いている。
窯業・土石製品	生コンクリート製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・県全体の生コンクリート出荷数量は、前年同月比94.7%となっている。
	コンクリート製品製造業	↘	→	↗	→	↘	→	↘	↘	↘	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	骨材・石工品等製造業	→	→	→	→	↘	→	→	→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・骨材価格について、令和7年度は値上げしなかったが、燃料費、トラック運賃、原材料の上昇が激しく、令和8年度は組合員から値上げを求める声があり協議している。 ・震災関連の復興資材の供給を継続している。 ・骨材需要は、低調な状況が続いている。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
鉄鋼・金属	銑鉄鑄物業	↓	→	→	→	↓	↓	↓	→	↓	・建設機械、工作機械及び産業機械部品など、全般的に受注は落ち込んでいる。 ・米国関税政策の影響が懸念され、先行きの景況感も急激に悪化している。
	銅・同合金鑄物製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・地金価格が高騰していることから、地金の盗難被害が増加している。
	アルミニウム製品製造業	↓	→	↑	→	↓	→	→	→	→	・特になし。
	建築用金属製品製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・建設機械や産業機械関係は不調であり、受注は減少している。 ・アルミ産業についても不調が続いているが、組合員企業への影響はほとんどない。 ・人材不足が続いている。現業職のみならず、品質管理や設計などの専門職や管理職も不足しており、採用に苦労している。
	めっき加工業	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓	・取引先からのめっき加工製品の入荷が減少し、売上高は減少している。また、材料費が高騰しているため、収益状況は悪化している。
一般機器	金属工作機械製造業	↑	↑	→	→	↑	→	→	↓	→	・受注状況及び売上ともに、前年同月と比べて増加している。数字上は大幅に増加し好調のように見えるが、前年同月が極端に受注等が少なかったためであり、前月と状況に変化はない。 ・米国関税政策の影響が不安である。
	金属加工機械製造業	↓	→	→	→	↓	↓	↓	→	↓	・特になし。
	非金属用金型製造業	↓	↓	↓	→	↓	→	↓	→	↓	・金型はものづくりの礎として、一部の業界に落ち込みが見られても他に活況とする業界があり、全体としての需要は底堅いものがあつたが、現況、様々な分野において総崩れの様相を呈しており、金型需要の落ち込みが止まらない。ここまでの停滞低迷は経験したことがなく、危機的な状況である。
電気機器	電子部品・デバイス・電子回路製造業	↑	↑	↑	→	↑	→	↑	↑	→	・民生機械製品や産業機械製品に若干回復の兆しが見られ、コロナ禍前の80%ほどまで戻ってきている。 ・顧客各社の新規投資の動きが活発化してきている。 ・米国関税政策の影響は、今のところそれほど出ていない。
輸送機器	自動車部分品・附属品製造業	→	→	↑	→	→	→	→	→	→	・特になし。
その他の製造業	漆器製造業	→	→	→	→	→	→	→	→	→	・大阪・関西万博の富山県ブースに出展したところ、来場者が多く盛況であった。

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
卸売業	セメント卸売業	↑	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・6月は官公需が牽引し、民間も稼働開始してきたため、袋セメント取扱数量は、前年同月比で123.8%と好調に推移している。 ・利賀ダム工事や震災復興関連工事の発注は堅調であるが、運送問題を根底に抱えており、受注出来ない事態も予想される。
	非鉄金属製品卸売業	↓	↑	↑	↓	↓	↓		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰の影響なのか、一般品、記念品ともに受注数が少なく、9月の繁忙期まで乗り切れるのか心配している。 ・近年の夏季の気温上昇によって、冷房設備のない現場では熱中症対策が急務となっている。
小売業	鮮魚小売業	↓	→	↓	→	↓	→		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・売上が伸びず、全体としては依然として景気が悪く、悪化傾向である。
	食肉小売業	→	→	→	↓	↓	↓		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇に伴い消費が冷え込んでいる。
	野菜・果実小売業	↓	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の富山卸売市場は、前年同月比で数量104%、単価97%、売上100%となっている。 ・組合員全体の売上については、前年同月比84%と低調である。
	家庭用電気機器小売業	↑	→	↑	→	→	→		→	↑	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	自動車小売業	→	→	→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
	ガソリンステーション	↓	→	↓	↓	↓	↓		↓	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルの進展に伴いガソリン等の需要減が見込まれることや、大手流通業者等による廉売激化、人材不足やドライバーの時間外規制など、SSの経営環境は依然として厳しい。 ・物価高による利用者の節約志向が響き、ガソリン販売量の減少は続いている。引き続き、需要の回復感は弱い。 ・販売価格については、原油価格の低下や政府の燃料油価格定額引下げ措置の導入に伴い、下落傾向にある。
	スポーツ用品小売業	↓	→	↑	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。
ショッピングセンター	→	→	↑	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の節約志向が更に強まっており、衣料品など非食品の買い控えに繋がっている。 	

業種	項目	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備稼働率	雇用人員	業界の景況	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
商店街	商店街	→	→	→	→	→	→		→	→	・商店街への人の出が昨年同月比2割減となっており、買い控え傾向が継続していると思われる。ただ、一部ブランド商品を扱っている店舗では、インバウンド客が売上に貢献している。
	商店街	↑	↑	↑	↑	↑	↑		→	→	・物販、飲食とも好転している。特に飲食は大きく好転している。
サービス業	情報サービス業	↓		→	→	↓	↓		→	→	・特になし。
	クリーニング業	↑		→	→	→	→		→	↑	・特になし。
	飲食業	↓		↑	→	↓	→		→	↓	・物価高騰の影響なのか、週末の家族連れ客が減っている。
	建築設計業	↑		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	自動車整備業	→		→	→	→	→		→	→	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の自動車新車新規登録・届出台数(登録車と軽自動車の合計)は、前年同月比で6ヵ月連続の前年越えとなっている。 ・今後の新車販売について、新型車を中心に新車需要は堅調に推移し、また各ブランドが人気車の受注残解消を精力的に進めていることから、前年実績超えを継続することが期待される。しかし、米国関税政策による自動車市場への影響に見通しがつかないことから、新車販売は予断を許さない状況である。 ・自動車整備事業者は、各種自動車部品、油脂類、機械工具類等全てのものが価格上昇しており、自社努力では対応しきれず苦慮している。 ・また、先進安全技術に係る特定整備制度の創設、自動車検査証の電子化、OBDを活用した自動車検査制度など、多くの制度改正に対応することを求められ、更に、新技術への対応、生産性向上、健全な経営の徹底、少子高齢化社会における自動車整備士の人材不足等の課題も抱えている。こうした課題に対応できない事業者は、自社の取扱い車種が加速度的に減少していく状況にある。
建設業	鉄骨・鉄筋工事	↓		↓	→	↓	↓		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・建築資材や関連物資、人件費が高止まりしている。 ・物件の中止や延期、規模の縮小など厳しい受注環境が続いている。 ・組合員同士の情報交換を密に行い、安い受注価格ではなく、適正価格での受注をしていかなければならない。
	一般土木建築工事	→		→	→	→	→		→	→	・特になし。
	管工事業	→		→	→	→	→		↓	→	<ul style="list-style-type: none"> ・景況に変化はない。 ・資格取得に関する講習会への参加人数が毎年減少している。採算面ではマイナスになるが、技術者定着のために予算を捻出して開催している。 ・会員の今後の活動の参考のために、能登半島地震応急復旧活動の動画制作を検討している。
	電気工事業	→		↑	→	↑	→		→	→	・公共工事や店舗等の新築・改装は順調であるが、住宅着工件数は大きく減少している。また、民間設備投資も徐々に減少傾向となっているため、日米関税交渉による景気の落ち込みに不安を抱いている。
運輸業	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	↓	・燃料価格が前年同月比で-5.3円/ℓとなったことで収益状況は改善されたものの、前月に続き物量全体が減少しており、景況は減少している。
	道路貨物運送	→		→	→	→	→		→	↓	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料価格は、前年同月比-4.6円/ℓと下がっている。 ・物量は、小口が前年同月比103.1%と伸びているが、貸切が85.7%と落ちている。